

公正で信頼される医療事故調査制度 を求める署名にご協力下さい！

ご存じですか？！ 医療事故の死亡者は交通事故の6倍！

日本では医療事故のために年間2万人を超える患者が亡くなっていると言われていました。

医療事故は決してひとつとではありません。

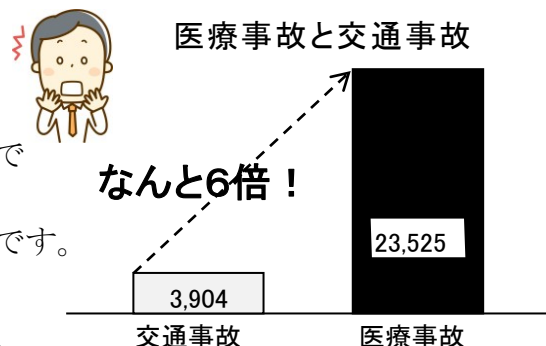
医療事故は、患者・家族にとってつらく悲しいことであり、医療者も心を痛める事態です。

医療事故を減らしていくことは重要かつ緊急の課題です。

※交通事故死亡者数：2016年警察庁まとめ

医療事故死亡者数：2015年の一般病床における年間退院患者数

約1475万人に対し、避けられた医療事故死亡の発生割合1/627をかけた推計値



そこで、医療事故調査制度がスタートしました

医療事故を減らしていくため、2015年10月から、医療事故の原因を調査して再発防止を図る制度がスタートし、間もなく2年となります。この制度では、医療事故の調査を、医療機関が院内で行い、遺族や医療機関が、第三者の医療事故調査機関に調査を求めることができることになっています。

しかし、現行の制度は問題が山積み！

この制度では、医療機関の管理者が医療事故でないと判断すれば、遺族が求めても、事故調査をしない扱いになっています。現に医療事故の報告件数はとても少なく、15年10月のスタートから17年7月まで1年9月で652件に留まっています（当初の計画では年2000件）。また、遺族が直接第三者機関での調査を求めても、調査されないという運用になっています。

公正で信頼される制度とするために、今こそ、患者の安全を守る医療者の専門職としての責任が問われています。

公正で信頼される医療事故調査制度の 確立を求める署名にご協力下さい！！



署名要請団体：医療版事故調推進フォーラム

E-mail：info@ijc-forum.com ホームページ：<http://www.ijc-forum.com/>

署名送付先 〒175-0083 東京都板橋区徳丸3-2-18 まつどビル202 きのした法律事務所内

私たちが求める公正で信頼される医療事故調査制度

目的

医療事故の原因を究明して、再発防止を図り、
医療事故にあった患者・家族への公正な対応を目的としたもの

性格

公正中立性：中立の立場で、手続と調査内容が公正であること
透明性：公正中立に調査が行われていることが外部からみて明らかなこと
専門性：事故分析の専門家によって、原因究明・再発防止を図ること
独立性：行政処分・刑事処分などを行う部署から独立していること
実効性：医療安全体制づくりに、国が十分な予算措置を講じること

●●●公正で信頼される医療事故調査制度にするための重要課題●●●

1. 届出・調査対象の範囲

現在の運用では、届出を要し事故調査対象となる範囲

= 「医療に起因し、又は起因すると疑われる」死亡、「予期しなかったもの」に限る

- * 「医療に起因する」「予期しなかったもの」の範囲を明確にして医療者に周知徹底し、すべての医療事故死亡事例が届出されて、調査の対象とされることが必要！

2. 遺族などの相談窓口の設置と第三者機関による調査要請・調査

現在の運用では、公式に遺族や病院職員が相談できる窓口がない

- * 届出されない事例等で、遺族や病院職員が相談できる相談窓口を設ける！
- * 第三者機関が必要と判断した場合、医療機関に調査を要請する仕組み、もしくは第三者機関が調査する仕組みを！



3. 調査メンバー

現在の運用では、調査メンバーの決定も医療機関任せ

- * 中立性確保のため、他の地域の医師と医療者以外の外部委員の参加が必須！
- * 透明性・公平性を担保し、地域ごとに偏りのない調査体制が必要！

誰もが関わる医療、私たちはいつでも当事者になりえます

患者の安全を守る適切な制度にするため

医療事故被害者・医療者はもちろん、

国民1人1人が声をあげることが大切です！！

